

第4章 ぶくいのくらしと経済・財政編

2014年度の福井県の
経済成長率は、「△1.1%」
県内総生産は、「3兆1300億円」で、前年度より338億円減少
(ぶくいの消費と経済)

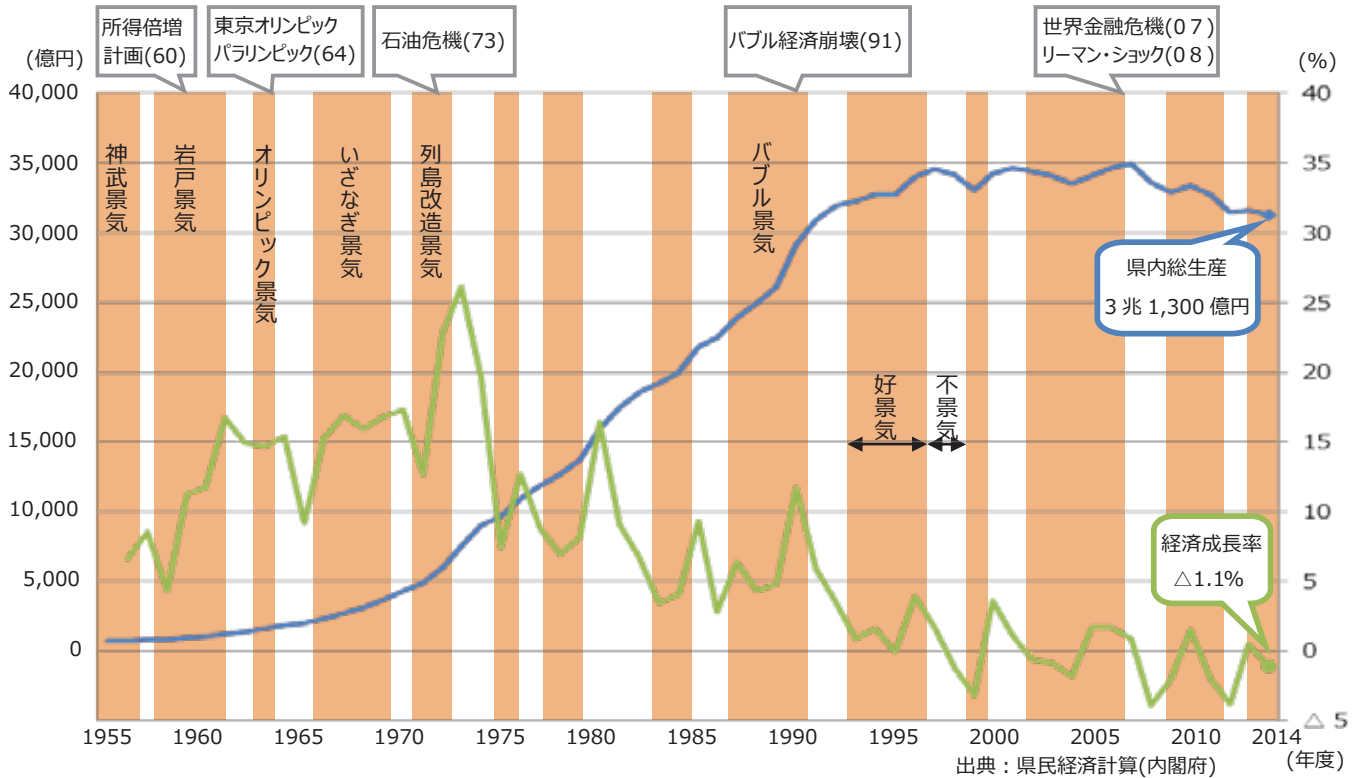


福井県の2016年度の決算額は、
歳入は「4,673億円」で、前年度より1.9%減少
歳出は「4,605億円」で、前年度より1.9%減少

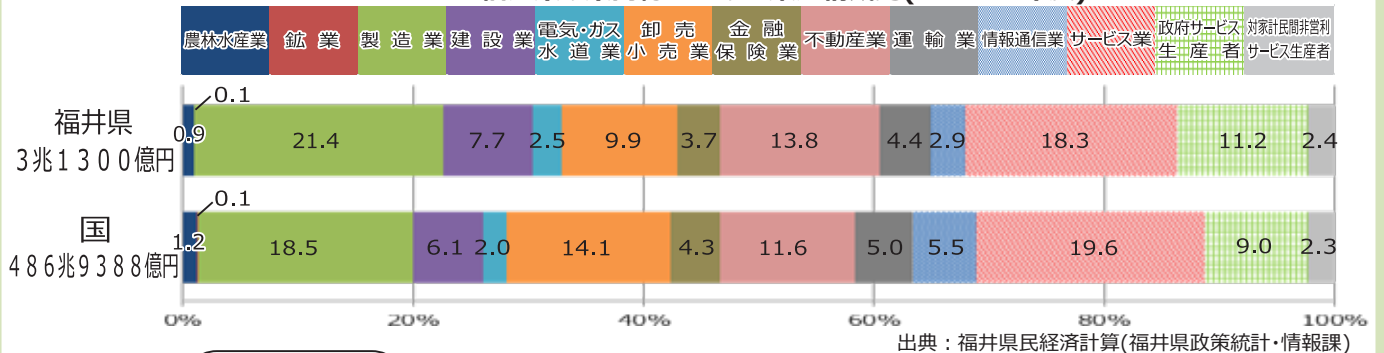
2016年度の県税収入は、「1,095億円」で、前年度より0.9%減少
(ぶくいの財政)

福井県の経済状況

福井県の県内総生産と経済成長率の推移



福井県の県内総生産の産業別構成比(2014年度)

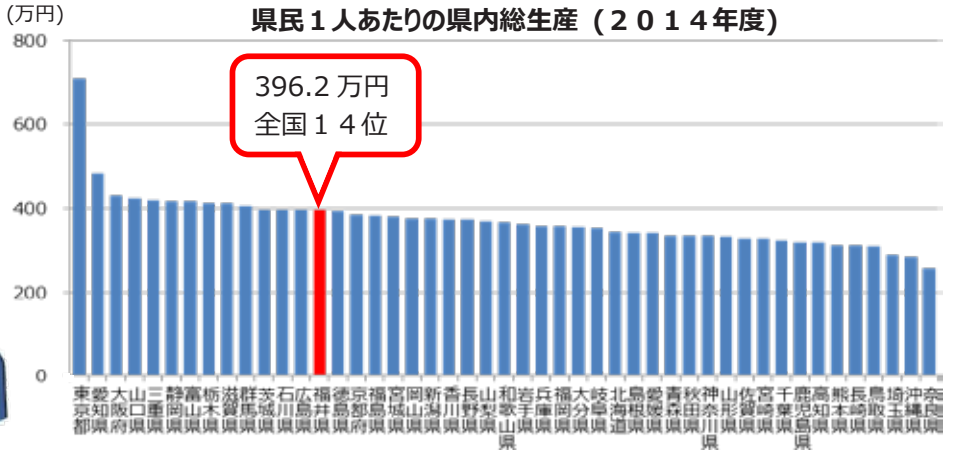


日本の経済状況と福井県の県内総生産(名目)の動きを見てみよう。

1人あたりの県内総生産は396.2万円。全国平均は404.6万円だよ。

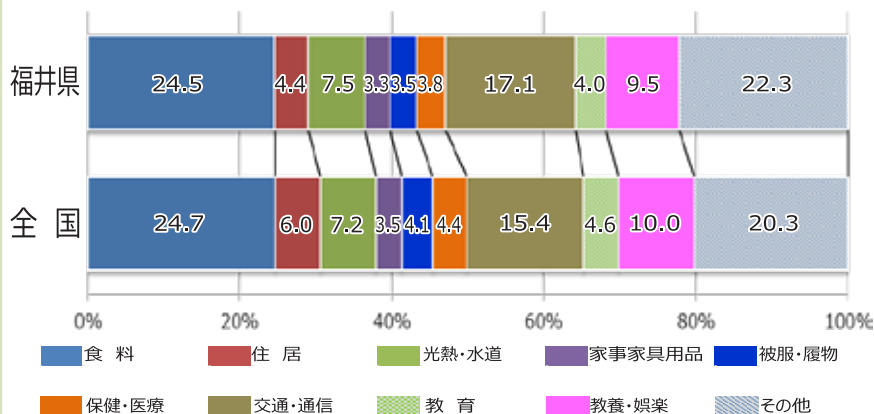


県民1人あたりの県内総生産(2014年度)



福井県民の消費生活

1世帯あたりの生活費内訳の割合(二人以上の世帯)



1世帯あたりの生活費(二人以上の世帯)

内訳	全国 (円)	福井県 (円)	自宅 (円)
食料	72,280	75,283	
住居	17,660	13,530	
光熱・水道	20,967	23,195	
家事家具用品	10,136	10,118	
被服・履物	11,864	10,868	
保健・医療	12,907	11,699	
交通・通信	45,136	52,547	
教育	13,387	12,201	
教養・娯楽	29,196	29,304	
その他	59,350	68,521	
合計	292,882	307,267	

出典：平成26年全国消費実態調査(総務省)



生活費の使い方を、福井県と全国で比べてみよう！
同じような箇所や異なる箇所があるけど、そこから福井県の特徴が見えてこないかな？

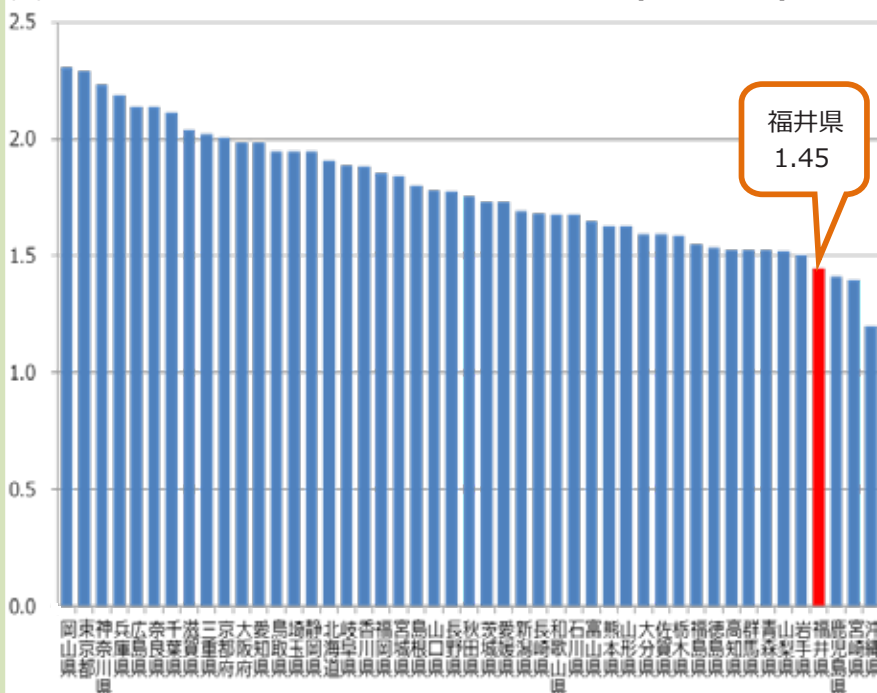
考えてみよう！



僕の家での生活費はどうなっているかな？
上の表の項目に金額を当てはめてみよう。
その結果から、節約できる部分を考えてみよう。

福井県の経済(クレジットカード発行件数)

(件) 都道府県別 1人あたりのクレジットカード契約数(2016年)



私たちはまだクレジットカードを持ってないけど、両親は持っているわ。現金、プリペイド、電子マネーと色々な支払方法があるけど、使い方に気をつけないとね。



クレジットカードの利用方法や仕組みについて調べて、メリットやデメリットをよく知った上で使用しましょう。

ちなみに、2016年の日本全体の信用供与額は539,265億円で1契約あたり219,570円。
福井県の契約数は約113万件だから県全体で約2,481億円になるわ。

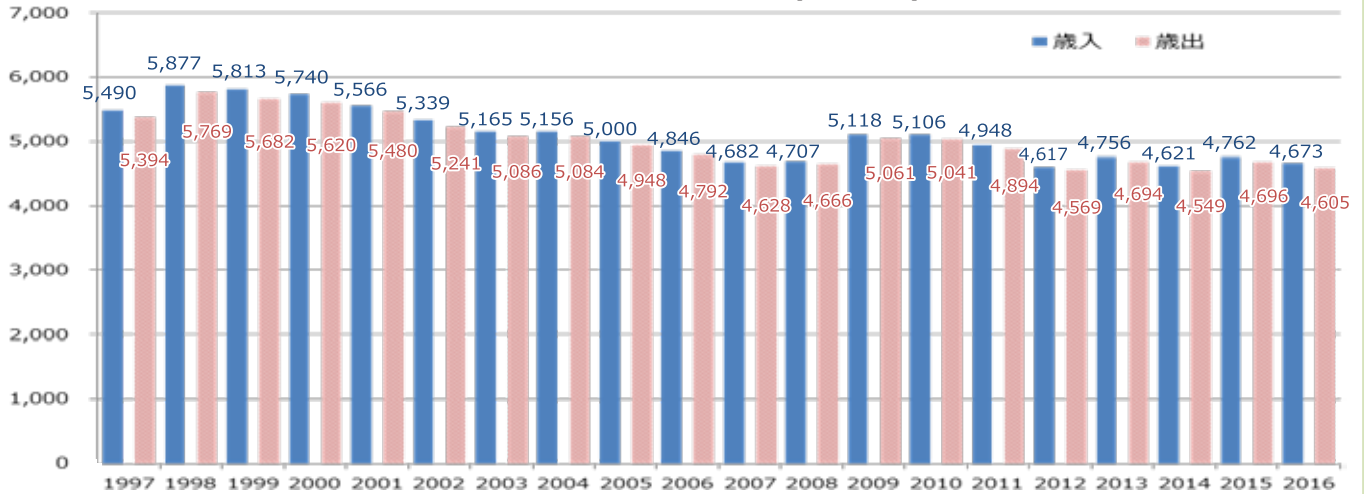


出典：日本クレジット統計(日本クレジット協会)

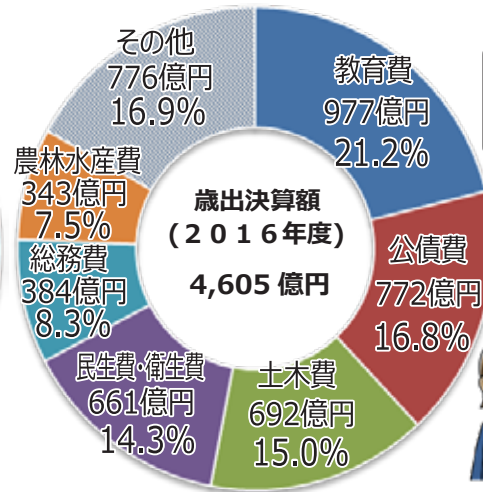
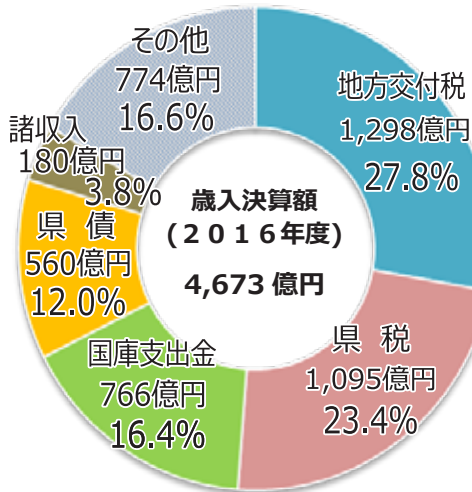
福井県の歳入・歳出決算額

(億円)

福井県の歳入・歳出決算額の推移(一般会計)



出典：福井県歳入歳出決算の概要(福井県会計課) (年度)



県の決算額は
10年間で大きく動いているね。



教育費…学費
公債費…借金返済額
土木費…住宅増改築
民生費・衛生費
…保険・医療代
総務費…光熱水費
農林水産費…米関係
と考えられるよ。

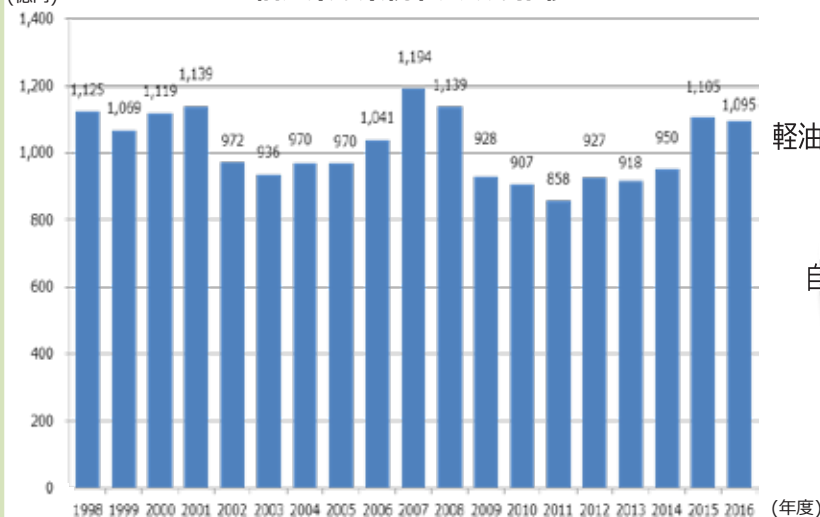


出典：平成28年度福井県歳入歳出決算の概要(福井県会計課)

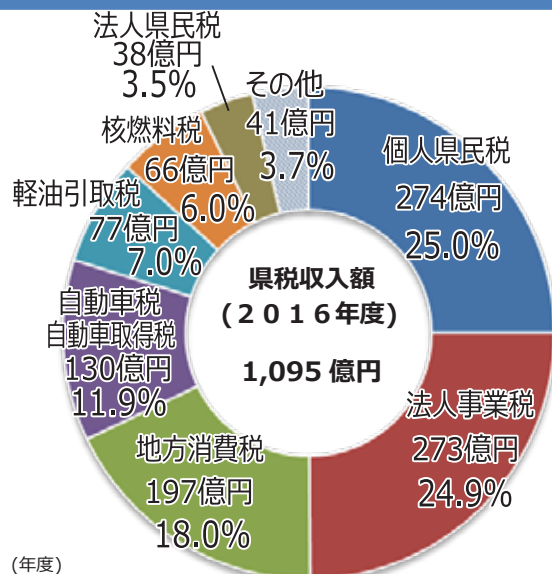
県税ってどんな割合になってる？

(億円)

福井県の県税収入額の推移



出典：福井県歳入歳出決算の概要(福井県会計課)



出典：平成28年度福井県歳入歳出決算の概要(福井県会計課)

「統計」ってなんだろう？

統計って、どういうもの？

例えば、

- ・「テストのクラスの平均点」 クラス全員のテストの点数 → 加工 → クラスの平均点
- ・「平成〇〇年降雪日数」 平成〇〇年に雪などが観測された日数 → 集計 → 降雪日数
- ・「アンケート結果」 集めたアンケート → 集計 → アンケート結果

人、モノ、出来事などの集団について調べたり、集めたりした数を集計・加工して、全体がよく分かるようにしたものを「統計」というのよ。



ただし、統計を考えるときは「時間」、「空間」、「標識」に注意しよう。

- 時間：統計の対象がいつのことなのか。
- 空間：考える統計の範囲。
- 標識：個体の特性。年齢、性別といったもの。

「統計表」と「統計グラフ」

「統計表」

調査、観察した結果えられた数値を、一定の基準に従って整理、配列した表のこと。

学校の授業以外の勉強時間(福井県・公立学校【平日】)(単位:%)

	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小学校 6年生	6.4	15.6	41.9	27.1	6.8	2.2
中学校 3年生	6.2	24.6	43.1	18.6	5.8	1.8

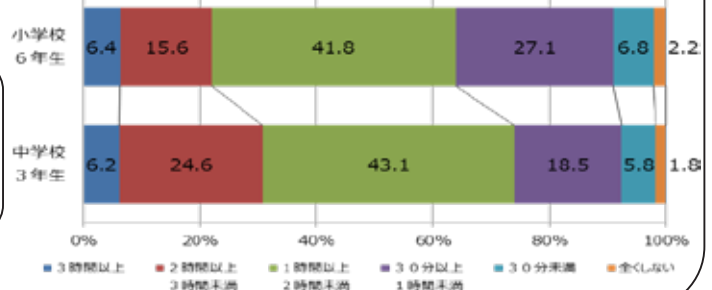
「統計グラフ」

統計表の結果を視覚化したもの。



上の「統計表」を「グラフ」に表すと、右のようになるんだね。統計表を統計グラフにすると、どのような効果があるのかな？

学校の授業以外の勉強時間(福井県・公立学校【平日】)



出典：平成29年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

さまざまな活用をされる統計



国では、税金や健康保険、雇用保険の額を決める際の参考として利用しているよ。
また、災害等の緊急時にすぐに支援物資を提供できるのも、統計調査によってその地域のことを把握できているからなんだ。



家庭では、家計簿をつけて、収支を管理しているわ。お金がかかっているところを見つけて、節約につながる事ができるわ。



会社では、顧客の好みを把握するための市場調査や、工場での品質管理に利用しているよ。身の周りには、他にも多くの統計があるよ。
みんなも探してみよう！



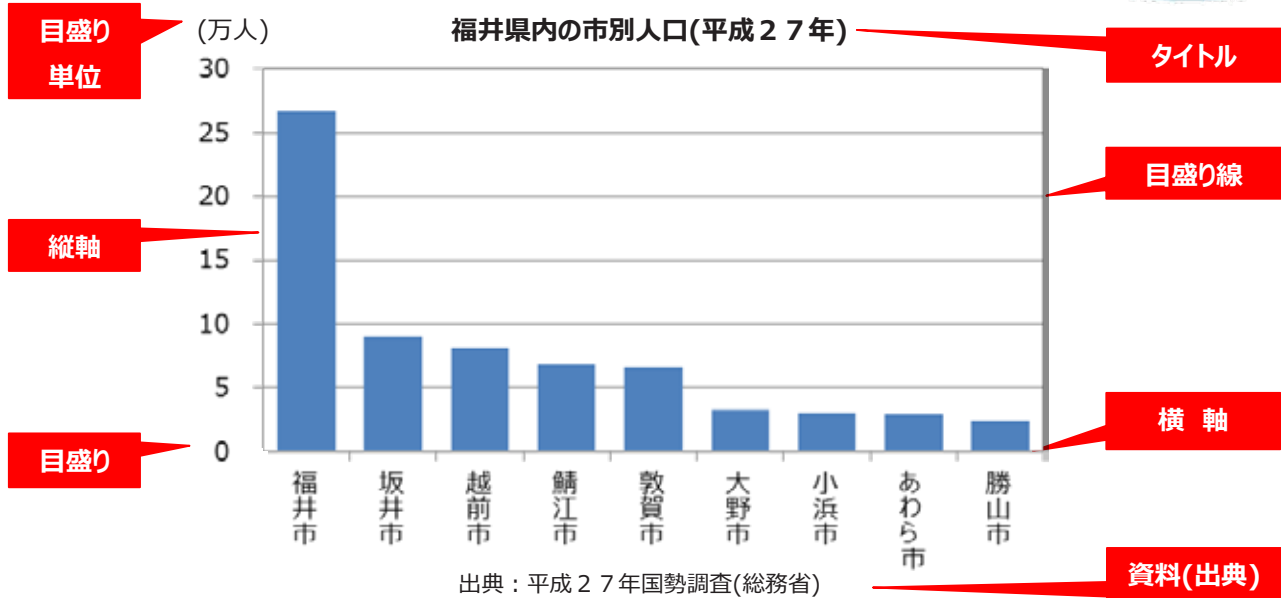
統計グラフの書き方



グラフを作るときには、「何を比べるのか」「何を伝えたいか」などを考えて、目的にあった統計グラフをつくりましょう。



グラフを作るときは、
・グラフのタイトル
・目盛り、単位
・使った資料(出典)
を忘れずに書こう！

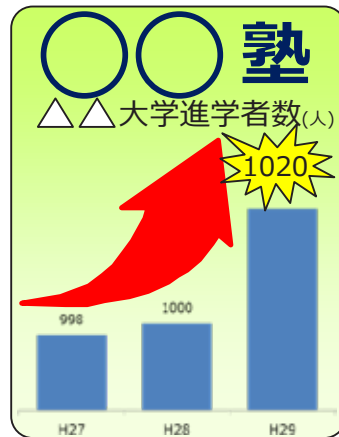


印象通り？その統計



お母さん、左の広告の商品の満足度、すごく高いね。この商品、買ってみようよ！

確かに満足度が高いわね。だけど、この値を本当に信じてもいいかな？満足度の調査は、どんな人たちを対象にしたのかしら？



右のグラフは、大学進学者数がすごく増加したように見えるね。でも、よくみたら印象程、増加してないね。



同じデータでも、グラフの書き方によって印象が変わってしまうため、グラフを作るときは、グラフから受ける印象が適正かどうか、誤った印象を与えていないか注意をしないといけないよ。また、グラフを見るときは、数値の差だけではなく、目盛りに気をつけることも大事だね。調査対象がどのような範囲なのかも大事になるよ。

ビッグデータの活用

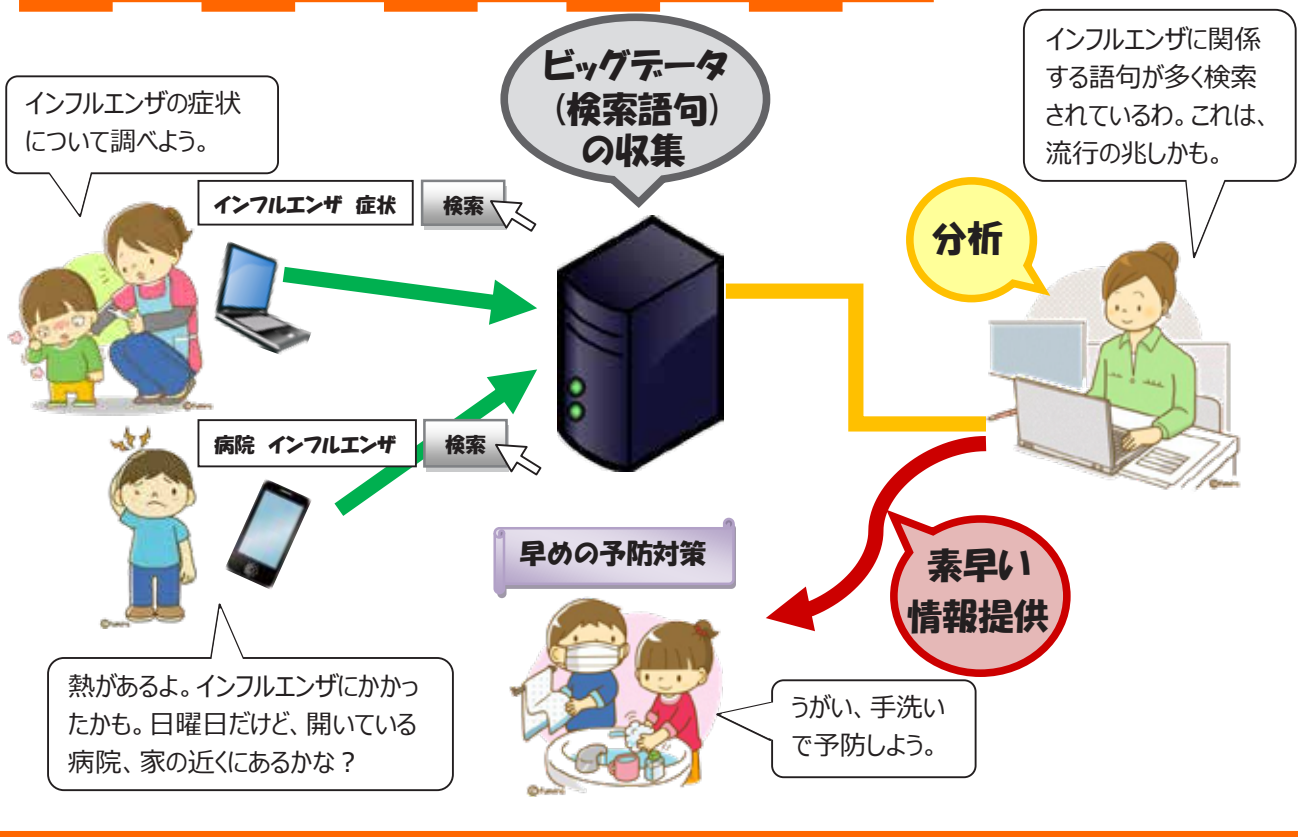
最近、新聞やニュース番組で「ビッグデータ」という言葉をよく聞いわ。何かしら？



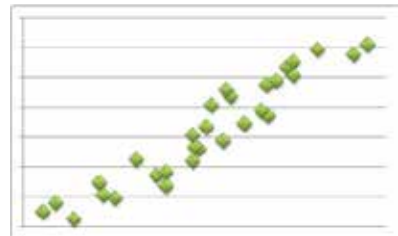
情報通信技術の進展により生成・収集・蓄積等ができるようになった多種多量のデータのことだよ。例えば、みんなが日頃活用しているスマホ等で、「どのような単語や言葉が検索されているか」というデータがあるよ。



ビッグデータの活用例



インフルエンザの患者数が多くなる時期に、よく検索される語句を過去のデータから調べておくことで、大量の検索語句の記録(ビッグデータ)から流行を予測できるんだ。2つの値(患者数と語句の検索数)の関連性を調べる際、統計の手法を用いるよ。



教育現場でもビッグデータの活用はされているけど、データは、ただ集めるだけでは意味がないよ。目的をはっきりさせて、データの集め方や、集めた後の利用方法等を考えることが大切なんだ。

